

# いながわ

## 議会だより

第 **111** 号

平成16年(2004年)4月30日

発行：猪名川町議会  
編集：議会広報特別委員会

〒666-0292 兵庫県川辺郡  
猪名川町上野字北畑11-1  
TEL(072)766-8710



～えほんのじかん～

子どもたちは  
絵本の世界に夢中です  
(図書館にて)

**16年度予算を可決** 効果的・効率的な財政運営になっているか **2**

**代表質問** 6会派が町長に問う **4**

議案審議・意見書を提出 **10**

**日曜議会を開会** 開かれた議会をめざして **11**

**委員会の活動報告** 幼稚園薬剤師等の報酬を見直し **12**

**一般質問** 7人が町の考えを聞く **14**

特別委員会の報告・研修会を開催・こどもたちの声 **18**



# 人と自然と文化を活かしたまちづくり

## 16年度町長施政方針

### ☆健康福祉のまちづくり

- 「社会福祉協議会」と「ゆうあい福祉公社」を統合
- 社会福祉会館と総合福祉センターとの専用連絡道（遊歩道）を整備
- 「痴呆性高齢者やすらぎ支援事業」を実施
- 障害者福祉センターがオープン

### ☆教育文化のまちづくり

- 楊津小学校と大島小学校の施設整備にかかる基本構想を策定
- 教育研究所を社会福祉会館内に移転し、適応教室も開設

### ☆魅力ある都市環境を築くまちづくり

- 町道上野5号線が新年度に役場前まで完成
- 水道監視施設等の改築と老朽管路の更新等の整備

### ☆安全で快適なまちづくり

- 「容器包装プラスチックごみ」の収集回数を毎週1回に拡充
- 救急救命士の研修を充実させ、救急業務の高度化に対応

### ☆産業のまちづくり

- 道の駅いなわがに新設された農家情報コーナーで、もぎ取り販売システムを稼働

### ☆まちづくりの実現に向けて

- 「参画と協働に関する懇話会」を拡充
- 町内全域でブロードバンドサービスが利用できる通信環境を整備

## 予算特別委員会

16年度各会計予算は、特別委員会で5日間にわたり審査した。一般会計については付帯決議が提出された。

## 一般会計

税金の減・借金払いの増大が町財政運営を直撃

Q 個人住民税の減収について、今後の見込みは。  
A 企業経営の悪化が影響している。景気回復との報

道もあり、17年度課税で好転しているかもしれない。  
Q 将来の財政運営に対する考え方は。  
A 三位一体の改革で財源移譲が100%されるかどうか分からない。毎年度の予算編成で対応したい。地方債残高も減らしたい。  
Q 公債比率（支出全体に占める借金払いの比率）が20%を超えているが、今後の財政見通しは。  
A 16、17年度は町債の一括償還時期であり、町債の借り換えなどにより一時的に増加するものの、18年度15%前後に戻る。将来の国の財政政策に影響される。

## 大きな道路が必要か

Q 総合福祉センターと社会福祉会館との連絡道路は、車椅子の幅でも1・2mなのに4m幅が必要か。しかも、近々両施設間の県道は速く・安全に行き来できる地域の生活道路になる。施設オープン後の利用状況も見た上で検討すべきでは。  
A 総合福祉センターと社会福祉会館の相互利用を考慮し、関係団体等の意見も聞き協議しながら進めたい。  
Q 歴史街道モデル事業で計画のサイクリングコースの利用は、十分見込みがあるとは考えられない。今実

## 施すべきことか。

A モニター、ワークショップなどでの意見・提案を受けて計画している。歴史

文化施設を結ぶ移動手段であり、特段のものとして考えているのではない。

## 〈反対討論〉

支援を求めている人にどれだけ配分していくか、支援がないと困るか困らないか突き詰めた財政運営になっ

## 賛成多数で可決

## 付帯決議

総合福祉センターと社会福祉会館との連絡道路の整備にあたっては、当委員会の審査の内容を踏まえ、所管委員会への適切な報告を行うとともに、更なる財源確保に取り組まれること。

# ているか



# 平成16年度予算を可決

## 効果的・効率的な財政運営になつ

16年度 会計別の予算額

区分	平成16年度当初	増減(%)	
一般会計	97億900万円	10.9	
特別会計	国民健康保険	15億6,765万4千円	6.4
	介護保険	10億6,522万7千円	5.5
	老人保健	19億643万4千円	4.4
	農業共済	4,397万8千円	△2.6
	農林商工業振興資金	2,994万1千円	35.9
	下水道事業	9億5,918万1千円	△3.1
	奨学金	944万1千円	22.6
小計	55億8,185万6千円	3.9	
水道事業会計	11億9,140万7千円	24.6	
合計	164億8,226万3千円	9.3	

Q 高額医療費の増減が激しいが、予算計上の考えは。

A 15年度は一時的・突発的なものが多かったが、16年度予算は過去を勘案し、通常ベースで計上したものを、医療費抑制策は、社会経済情勢の悪化で、

### 特別・企業会計

#### 国民健康保険

Q 町独自の乳幼児医療費助成を実施する考えは。

A 子育て支援全体で何を優先するか検討したい。

Q 3歳児の私立幼稚園就園奨励費補助及び学童保育の土曜実施の考えは。

A 3歳児の補助は検討が必要。学童保育の土曜実施

子育て支援・教育の考え方は

は考えていないが、次世代育成支援地域行動計画の中で総合的に検討したい。

Q 楊津・大島小学校の統合と幼・小・中一貫教育の今後の展望は。

A 両小学校は耐力度・耐震度が不適合であり、統合し新築したい。今後議会や地域の声を聞きながら、20年4月を目途に進めたい。一貫教育に関しては中学校

区で考えており、楊津・大島両校の統合を契機に、審議会を設け検討したい。小規模校は統合へ進むべきと考えている。

Q イナホールの自主事業の考え方は。

A アンケート等により住民のニーズを把握し、検討していきたい。

Q 地域担当職員制度補助金の内容は。

A 各地域の課題に対応するために使用する。

Q 町長車をハイヤーなどに委託する考えはないか。

A 12年よりリース契約をしており、契約期間満了まで現状維持し、今後の検討課題としたい。

Q 敬老会費減額の理由は。

A 90歳及び夫婦併せて180歳の表彰を廃止し、記念品の額も減額している。

Q 調整交付金収入の率が低いかなぜか。

A 交付率4・4%でこれは、高齢者の加入割合と所得段階別で決まる。全国平均に比べ本町の高齢者は高所得。(全会一致で可決)

#### 介護保険

(全会一致で可決)

#### 下水道事業

Q 581件の未水洗化世帯の解消は。

A 水洗化への啓発を行い、他市の状況も参考に戸別訪問指導も行い、今後も解消に向け一層努力する。

#### 反対討論

莫大な税金を投入し下水道整備を行ったのに未水洗化世帯が減らない。

#### 賛成討論

計画もほぼ終結を迎え、未整備地区解消への積極的な取り組みを評価。

(賛成多数で可決)

(このほか、老人保健、農業共済、農林商工業振興資金の3特別会計及び水道事業会計は、全会一致で可決)

#### 奨学金

Q 給付から貸付制度へ移行したが、就職難等の理由で未返済の場合の対応策は。

A 返済は貸与終了の翌月から起算し、6ヵ月後から10年までの間に返済。さらに猶予期間として最大5年間あるが、困難な場合は連帯保証人に請求する。

(全会一致で可決)

#### ひょうちメモ

「総合福祉センター」「福祉センター」と「障害者福祉センター」をあわせた総称。愛称「ゆうあいセンター」。

#### ひょうちメモ

「付帯決議」議決にあたって付随的に付けられる意見・要望。

# 民 政 会

福田長治議員  
福本典子議員  
道上善崇議員  
山崎福市議員



福田 長治議員

## Q 本町がめざす将来像は

### A 住民の参画と協働によるまちづくり

**問** 我が国の経済も長かつた低迷の時代から少しずつ持ち直してきたかのように見える。しかし、我々一般住民の生活にはまだまだ厳しいものがあり、今後も予断を許さないものがあるように思える。

16年度の予算編成にあたって町長がこれからの猪名川町のあるべき姿、これから目指そうとしているまちづくりなど、今描いている将来像は。

**町長** 住民の皆さんに参画していただき、協働のまちづくりを進めたい。また、国の改革や市町村合併が進行していく中で本町の目指す将来像の共通認識を持ち、地方分権・税源移譲等、国の動向を的確に把握し、調査・研究するために部長級職員で町のあり方研究会を設置しており、本年度内に取りまとめ、住民の皆さま

にもお知らせして総合的な判断をしていきたい。  
**問** 財政状況は年々悪化しており、経常収支比率は88・1%、公債比率は23・4%と今まで経験したことのない財政の硬直化が見られるが、この厳しい時を乗り切るには今何をしなければならぬのか。

**町長** 国においては補助金の廃止や交付税の削減など改革が進められ、町税についても減少しており歳入全体が落ち込んできている。事務事業の見直し、組織の簡素化、民間委託の推進、経費の削減など、簡素効率化に向け取り組む。

**問** 本町の組織は十分機能しているか。また、職員研修など人材育成に向けての取り組みは万全か。

**町長** 14年に複雑多様化する事務に的確に対応するため部制を導入した。今後も

継続して行きたい。職員の能力開発や士気高揚はかねてからの課題である。自己評価の制度や提案制度を検討したい。人材育成は職場内外の研修や自己啓発をしてきた。若手職員の育成など今後も取り組む。

**問** 福祉政策は本年大きく変わる年である。社会福祉協議会がゆうあいセンターを運営し、障害者福祉センターが完成するなど、これからの福祉を考え直す時ではないか。

**町長** 本年4月より総合福祉センターを福祉の拠点とし、社会福祉協議会が運営する。障害者福祉センターは障害者だけでなく地域住民との交流の場としていきたい。

**問** 教育は今、制度改革に向けて動き出している。本町の教育の将来像を聞く。

**教育長** 今教育は大きな転換期を迎えている。学校教育は心豊かに、学び続ける力を育成することであり、「確かな学力の形成」「豊かな人間性と自立心の育成」の具現化に取り組む。

**問** 楊津・大島小学校の統合問題は両校の歴史や住民感情など課題は多いが、今後の取り組みは。

**教育長** 耐震診断の結果や適正規模の学校などを考え

ると両校の統合が最良である。今後、議会・地元などで議論を重ねていきたい。  
**問** 幼・小・中の一貫教育の取り組みを検討しているが、その後の進展は。

**教育長** まず現場の教職員の意識改革が必要であり、本年度は審議会や検討会を組織し基本構想に向けて研究をして行く。



ワークショップによる公園づくり



福井 昌司議員

# 清流会

関口功男議員  
西谷八郎治議員  
福井昌司議員

## Q 「三位一体改革」の本町への影響は

### A 歳入全体が大きく減り硬直化が進む

財政硬直化の折、加えて大規模住宅開発の中止や見直し、急速に進む少子・高齢化傾向等は、本町第四次総合計画を根底から覆し後期基本計画の大幅な修正を余儀なくされると考える。

**問** 今こそ町長の強力なリーダーシップと勇断をもって我が町の指標を示し、住民に夢を与えるときではないか。人口フレームや合併論を含めて伺う。

**町長** 豊かな自然と伝統ある生活文化を活かし、人と自然とのふれあいを感じられる魅力あるまちづくりを進める。人口は第四次総合計画を下方修正し、3万3千人をいち早く達成したい。3市1町合併については

「機が熟していない」と阪神北部広域行政研究会で結論が出た。現在、町独自で「町のあり方研究会」をつくり調査・検討を行っている。整理ができれば住民の皆様にお知らせする。

**問** 「三位一体の改革」は弱小自治体にとって影響度は大きいと考える。また、起債償還のピークを迎えて財政調整基金の取り崩しや、減債基金の振り替え等で急場は凌げると思うが、今後の展開は。

**町長** 町税収入の減少と起債償還のピーク、加えて補助金と地方交付税の削減、税源移譲のあり方により、歳入全体が大きく減り、財政構造はより硬直化が進む。

本年度から実施した行政改革実施計画を推進し、事務事業を見直し、組織・機構の簡素効率化、給与の適正化、民間委託の推進等、徹底した経常経費の削減に取り組む。

**問** 行政評価システムの確立に向けて、現状と今後の取り組みは。

**町長** 12年度から事業評価監視システムを導入。新年度は本格的運用を図り、総合計画進行管理の一元化に向けて財務会計システムと連動し、行政評価データベースを構築する。また、外部評価組織を拡充する。

**問** 総合的な福祉施策の展開とは。

**町長** 3月末には障害者福祉センターが完成する。4月には、社会福祉協議会と、ゆうあい福祉公社を統合する。福祉会館は従来通りの活用を図り、両施設を結び専用道を整備して有機的連携を図って福祉ゾーンとして充実させたい。

**問** 楊津・大島小学校の統合の結論は出たのか。

**教育長** 教育委員会として両校の統合が最良との結論

に至った。場所は中間の六瀬中学校付近が適切と考えている。今後は保護者や住民の皆様にも充分説明し理解を求めていく。

**問** 学校・園の危機管理対応は確立したか見えるが。

**教育長** 本年度は川西警察の協力を得て「不審者侵入時の対応のしかた」や「県警ホットラインの通報訓練の実技」を交えて講習会を行った。教職員の意識の高揚も図られたと考えており、1月には町内全教職員300名に「防犯ホイッスル」を配布、また、児童・生徒には「防犯ブザー」携行の徹底を図っている。

(その他の主な質問項目)

- 総合計画の見直しに伴い各種マスタープランの整合性は
- 子育て支援策と次世代育成支援地域行動計画は
- 幼・小・中一貫教育の具体的方策は
- 県道川西篠山線北野バイパスの見直しは
- 歴史街道整備プランについて
- 地籍調査について



三位一体改革で地方は悲鳴





中島 孝雄議員

# リベラル 猪名川

中島孝雄議員  
時崎 巖議員

## Q 今、その道路・施設が必要か

### A コスト縮減を考慮しながら進める

町税収入が5年連続の減収となり、一昨年に見直されたばかりのまちづくりの根幹となる人口計画も、すでに大きな読み違いが生じている。

町税収入が5年連続の減収となり、一昨年に見直された予算をより効果的に、より効率的に優先順位を定め、今必要かどうかを考え、各施策に取り組みべきであると考えます。

#### 専用連絡道路について

3市1町による合併の話も、機が熟していないとして見送りとなった今、猪名川町の将来はどうあるべきか、過去に経験したことの

「ゆうあいセンター」と「社会福祉会館」とを結び専用連絡道路整備が計画されているが、それぞれに

自然が豊かな環境の中に建設がなされ、高齢者や障害者の安全や、その家族の安心を考えると、散策道のようなこの道の必要性と規模は。

#### 町長 「希望の家すばる」

「希望の家すばる」が新築された障害者福祉センターに移転後、社会福祉会館において予約制で喫茶部門を開設する予定があり、福祉施設を多く利用する。

向を見ながら対応するとしているが、本町は持ち家率が90%以上と、阪神間でも突出した高い水準にあり、在宅での介護が極めて行い易い状況にある。

徹底した予防施策の展開により、施設への入所者を極力少なくし、できる限り自宅においての介護を支援すべきでは。

#### 町長

すでに要介護認定事務に関しては、現行の認定有効期間が原則6ヵ月であったのが、16年4月より12ヵ月に延長されようとしており、町としても国の審議内容を注視しながら事前に準備すべきことには対応する。

#### 楊津・大島小学校の統合

#### は

両校が耐震診断において不適合とされ施設整備が急がれる中で、両校を統合して六瀬地域に新設する計画が示されたが、整備に對しての保護者の同意は得られるのか。住民の意見は聞いているのか。

少子化による各校の学級減の対策と耐震補強は理解するが、なぜ新設なのか。

【教育長】耐力度調査並びに耐震度診断により建て替えるを得ないとの結果から検討を進めている。

今後、両校の保護者や住民にも理解を求めていく。

#### 木間生旭ヶ丘線の道路は

【町長】高規格な必要とは思えない道路が財政難と言いつつながら次々と建設される。木間生旭ヶ丘線も進められようとしているが、計画の縮小も含めて見直す考えは。

#### 町長

本路線は起債対象事業であり、避難通路や迂回路として住民生活の利便性が確保できるものである。建設にあたっては、コスト削減に引き続き取り組む。

#### ついでに

#### 「希望の家すばる」

小規模通所授産施設。在宅障害者の自立と社会参加の促進を図るため、日常生活訓練、作業等を行っている。



連絡道路の整備区間

社会館を利用する場合も、事務局への連絡等が行い易いと考えた。また、森林浴も可能で健康増進のための遊歩道としても利用できる。規模は道幅4mで総距離は440mの予定。

#### 介護保険制度の見直し検討は

【町長】制度全般についての見直しは国の動



池上 哲男議員

# 日本共産党 議員団

下坊辰雄議員  
池上哲男議員

## Q 医療の充実是最優先課題。広域連携は

## A 総合病院等の医療は今後の課題

「誰もが安心していつまでも住み続けたい」まちづくりの基本は

町民税の落ち込みは行財政運営の硬直化とともに、昨年も指摘したように、町民のくらしが益々苦しくなっていることの裏付けでもある。学童保育の土曜日運営や阪神間なみに3歳児から私立幼稚園への就園奨励金支給、県下の半数近い自治体で行っているように乳幼児医療費の町独自助成、町の総合計画で本年度末までに検討するとなっている保育料などの負担の軽減、ごみの個別収集など、町の支援がなければ自助努力では解決しない問題や、生活が困難あるいは猪名川町に住みにくいといった課題がある。特に財政の厳しい本年度・来年度は「この施策がなければ困るのか」とのつきつめた検討の上、今町民が直面している困難の改善を最優先・最重要の課題として施策の中心に置くべき。このことが「誰もが安心していつまでも住み続けたい」まちづくりの基本となる。

### バリアフリーの促進

**問** 日生中央駅のエレベーター設置について県も一部費用負担することになって

いるので、県も呼んで一緒に力を併せて企業と交渉するぐらい力を入れるべき。

**町長** 構造上の問題や企業の財政負担が大きいことから、早期の設置は困難。

### 医療体制の整備

**問** 医療の充実は最優先課題。広域連携推進の考えは。

**町長** 阪神北部3市1町で小児救急が最優先と考え、広域連携の検討を進めている。総合病院等の医療は今後の課題。

### ごみの個別収集

**問** 高齢化によりごみ出しが困難な家庭が増えている。また、今の社会状況の中で共働きの増えると予測されるが、ごみ当番が受けられない自治会脱会にもつながる。もはや自助努力・相互協力では補えない状況になりつつあり、「猪名川町に住み続けることが困難、あるいは大変住みにくい」といっている。

ごみの個別収集について検討を始めるべき。

**町長** 自治会内での相互協力でやっていただきたい。

### 適応教室の運営

**問** 適応教室は、場所を設け指導員を雇えば良いというものではない。保護者との話し合い・運営方針・学校との連携・児童生徒の地域の理解など、教育委員会として指導者任せにしない基本的な考えは。

**教育長** 本町の環境に合った運営ができるよう条件整備を行っている。運営委員

会等を設置し、その中で児童生徒への対応を考えていく。また、学校・保護者と話し合い、カウンセラーと常に連携を図っていく。

### 専任の学校司書教諭配置

**問** 専任の司書教諭が配置された学校と兼任の学校では読書指導において大きな差が生じ、教育の機会均等に反する。全ての学校を専任にすべき。

**教育長** 国や県に強く要望していく。



朝のごみ出しの様子



公明党

南 初男議員  
新賀 保議員



南 初男議員

Q 町のあり方研究会の目指すものは  
A 長期的なまちづくりを進めるため

国においては改革断行予算、基本路線を継続し構造改革を推進し、官から民へ、

国から地方へ、また、ハードからソフトへ抜本的な見直しをしている。本町も開発計画の中止や合併の問題、

少子・高齢化等、国も地方も厳しい状況の中、「人と自然がやさしくとけあい未来に輝くふるさと猪名川」

を目指し、今こそ一丸となつて取り組むべき。

**問** 昨年8月助役をリーダーに部長級で今後の町のあり方研究会を発足したが、本町3万人の未来への方向性を問う。

**町長** 合併特例法は17年3月末が期限。阪神北部広域行政研究会では機が熟していないと一応は結論が出ているが、今後の国・県の動向を的確に把握し、本町の長期的なまちづくりを進めるため、町のあり方研究会

を設置。まともは3月末を目途としている。

**問** 全国川サミットのプランは。

**町長** 新しい世紀の初頭にあたって、ホテルや清流魚が生息する清流への本町の取り組みを全国にアピールし、町制施行50周年の節目に清流猪名川を発信する。

**問** 歴史街道整備プランとは。

**町長** 関西は日本の国宝の約6割、重要文化財の約5割、史跡名勝の約3割が集積する。歴史街道計画は豊かな関西の歴史文化資源を活かし、内外の人々に紹介するプロジェクト。町全域を対象地域に銀山地区を観光スポットとして4ゾーンを設定。個々の施設ではなくゾーンとした線であらえる。

**問** 健康福祉のまちづくりについて。

**町長** 社会福祉協議会とゆうあい福祉公社の統合スタートで、今までのサービスが低下することなく新たな分野へ拡大発展を期待する。

**問** 教育文化のまちづくりについて。

**教育長** 環境教育推進法が昨年10月に施行され、地域の自然を愛し、守り育てる子どもの意識を育成するため環境体験学習を進める。

**問** 都市環境のまちづくりについて。

**町長** 地域内の生活道路は住民生活に重要な役目を担っている。狹隘区間の整備や経年劣化している路面のリフレッシュ等を行なう。水道事業は経営の健全化並びに安全な水の安定供給を計画的に進める。

**問** 景観の整備保全、緑地の整備保全について。

**町長** 観光立国行動計画及び美しい国づくり政策大綱が策定され、都市・農村等における景観形成を図る。

運営協議会で検討。また、不法投棄防止条例も検討。産業のまちづくりでは全ての農地の活用を図り、米及び野菜や果樹など町民の食の確保を図る地産地消を推進。

**問** 景観の整備保全、緑地の整備保全について。

**町長** 観光立国行動計画及び美しい国づくり政策大綱が策定され、都市・農村等における景観形成を図る。

本町においては景観の形成等に関する条例に基づき、景観の創造保全に努めてきた。今後も地域住民の協力を得ながら進めていく。

本町においては景観の形成等に関する条例に基づき、景観の創造保全に努めてきた。今後も地域住民の協力を得ながら進めていく。

本町においては景観の形成等に関する条例に基づき、景観の創造保全に努めてきた。今後も地域住民の協力を得ながら進めていく。

本町においては景観の形成等に関する条例に基づき、景観の創造保全に努めてきた。今後も地域住民の協力を得ながら進めていく。

本町においては景観の形成等に関する条例に基づき、景観の創造保全に努めてきた。今後も地域住民の協力を得ながら進めていく。

本町においては景観の形成等に関する条例に基づき、景観の創造保全に努めてきた。今後も地域住民の協力を得ながら進めていく。

本町においては景観の形成等に関する条例に基づき、景観の創造保全に努めてきた。今後も地域住民の協力を得ながら進めていく。



清流猪名川を取り戻そう町民運動の取り組み  
「ラブ・リバー INAGAWA」





切通 明男議員

# 政 和 会

切通明男議員  
小坂 正議員

## Q 町長の施政方針に対し問う

### A 現状を把握し最善の対策を行う

**問** 行政運営について。  
**町長** 徹底した行政改革・財政の健全化・財源の確保を行い、住民サービスに取り組む。組織機構の簡素効率化、民間委託の推進など経常経費の削減を行い、財務状況の把握、民間企業等の経営管理手法等を活用し取り組む。職員定数は職員適正化計画に基づき、退職者の補充並びに新規採用は行わない。



大勢の人でにぎわう農産物販売センター

**問** 都市近郊の地域資源を活かし交流に支えられた産業のまちづくり  
**町長** 米政策改革大綱は農業者・農業者団体が主となり、地域自らが産地づくりの設計図である地域水田農業ビジョンを策定する。町では農業者団体、消費者団体等の代表者を構成員とした地域水田農業推進協議会を立ち上げ、地域の特色を活かした作物振興・販売戦略

・担い手育成など地域農業のあるべき姿を検討している。生産調整は農産物販売センターにおいて販売野菜を確保する観点から、消費者ニーズを踏まえた安全・安心な農産物生産を奨励し、産地としての使命・役割を果たすよう指導していく。  
**問** 農業、遺伝子組み換え、鳥インフルエンザについて。  
**町長** J A 営農指導・農業改良普及センターの技術指導等一体で生産履歴情報の収集を図り公開をしていく。鳥インフルエンザ問題は町内全戸を対象に周知パンフレットの回覧を行い、農林商工課に警戒窓口を設け、町民と姫路家畜保健衛生所、家畜診療所等との連絡や緊急時初動体制の確立を図っている。

に努めている。今後は教師一人ひとりの個性・特性を伸ばし、地域との連携の中で、学校教育の充実・発展に努める。  
**問** 適応教室について。  
**教育長** 長期欠席の児童・生徒に対し、学校と異なる雰囲気の中で学習、集団活動等を体験し、集団生活への適応を図り、学校生活への復帰を援助するのが目的。不登校児童・生徒は増加傾向。学校・家庭・地域社会が一体で取り組む必要がある。  
**問** 人権教育の実態は。  
**教育長** 人権同和教育研究協議会と連携し、人権同和研修を行い、人権意識の向上に取り組んでいる。しかし、残念ながら人権侵害や差別の事例が発生しており、特に職員と学校教職員の研修を見直し、なお一層住民の人権意識を高める啓発の推進に努めている。  
**問** 35人学級導入は。  
**教育長** 新一年生の児童数の確認を再度行い、35人学級に係る学校については県教育委員会に希望を申請していきたいと考え、その準備に入っている。

# 3月定例会



第321回定例会を2月25日から3月25日まで開会し、損害評価会委員の選任や、新年度予算及び町条例の一部改正など、常任委員会(別表)と予算特別委員会に付託した21議案を含む40議案について慎重に審議し、いずれも原案どおり同意・可決した。

## 人事案件

損害評価会委員の選任に同意

田中敏夫氏を選任。  
任期は17年3月31日まで。

## 議員提出議案

議会推薦の農業委員会委員が16年3月31日で任期満了となるため、野木すす子氏・東山美枝氏を推薦。

## 選挙管理委員会 委員及び補充員 決まる

### 選挙管理委員会委員

西田説二氏・生島嘉章氏  
衣川 謙氏・根本善弘氏

### 補充員

廣瀬 隆氏・神野敬治氏  
阪田利信氏・中尾秀一氏  
委員及び補充員の任期は16年5月22日から20年5月21日まで。

## 常任委員会への付託議案

# 本会議でこう決まりました

議案名	審議結果	付託委員会
<ul style="list-style-type: none"> <li>地方独立行政法人法の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定</li> <li>特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正</li> <li>教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正</li> <li>非常勤の職員の公務災害補償に関する条例の一部改正</li> <li>火災予防条例の一部改正</li> </ul>	可決 (全会一致)	総務企画 (7件)
<ul style="list-style-type: none"> <li>特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正</li> <li>職員の給与に関する条例の一部改正</li> </ul>	可決 (賛成多数)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>農産物販売センター及び加工・地域食材供給室の設置及び管理に関する条例の一部改正</li> <li>農業共済条例の一部改正</li> </ul>	可決 (全会一致)	建設環境 (2件)
<ul style="list-style-type: none"> <li>国民健康保険税条例の一部改正</li> <li>社会福祉会館条例の一部改正</li> <li>教育研究所設置条例の一部改正</li> </ul>	可決 (全会一致)	文教厚生 (3件)

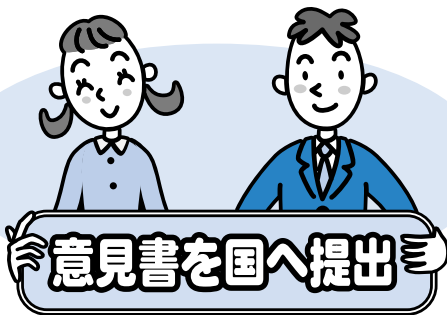
## 受理した請願

「容器包装リサイクル法」の見直しを求める意見書の提出を求める請願書

(請願者)

・生活協同組合都市生活・くらしと環境を考えるぐみの会

本会議で「採択」



## 容器包装リサイクル法の 見直しを求める意見書(要旨)

1. 一日も早く循環型社会への転換を図るため、拡大生産者責任の原則をより徹底して、現在市町村の負担となっている分別収集・保管を含めた、リサイクルの全費用を特定事業者の負担とすること。
2. 再生利用に優先して発生抑制・再使用を促進するためのさまざまな経済的・規制的手法等を導入すること。





# 日曜議会を開会

## 開かれた議会をめざして

平日は傍聴に来られない人など、より多くの人に町政・議会への関心を高めてもらうため、3月7日に「日曜議会」を開会しました。

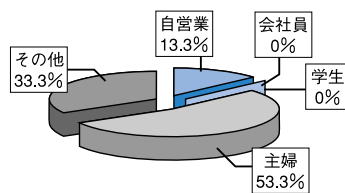
この日は、7人の議員が一般質問を行い、住民のみなさまにとって身近な問題について論議しました。(詳細は14ページ)

3度目となる今回の傍聴者は27人で、一般質問日の1日平均9人(昨年)の3倍の方が傍聴されました。

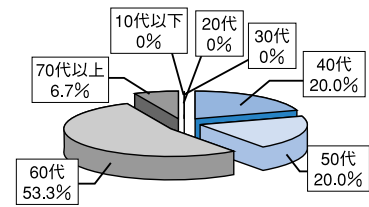
### 傍聴者からのご意見・ご感想

- ・具体的に安易な言葉でよく勉強されている方や、どこかの本から引用して小難しくしている人等おもしろかった
- ・議会を身近に感じた
- ・議会で話し合われていることが、実際に住民の生活に反映できるよう、町職員がそれぞれの分野で取り組んで欲しい
- ・傍聴者は多い方が良いので、方法をもっと考える必要がある
- ・やはりよく勉強している人の質疑応答を期待する。代表者であるからには、考えて考えて自分が公人であると自覚して欲しい  
(一部を掲載しました)

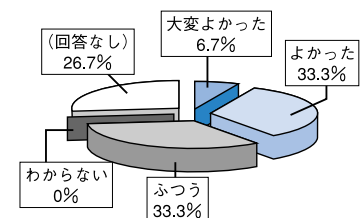
### 職業



### 年齢



### 感想



ご協力  
ありがとう  
ございました

アンケート集計結果(回収率 55.5%)

### あなたも

#### 議会・委員会を傍聴しませんか

議会では、みなさまの身近なことを論議しています。

まちづくりを一緒に考えてみませんか。傍聴の手続きは簡単で、当日、事務局で受付簿に記入していただくだけで傍聴できます。(本会議20名、委員会10名まで)

#### 16年度 議会の日程(予定)

- \* 6月定例会 6月11日～25日
- \* 9月定例会 9月10日～28日
- \* 12月定例会 12月10日～24日
- \* 3月定例会 17年2月25日～3月25日

議事の都合により変更することがあります。日程については、ホームページでもご覧いただけます。

#### インターネットで

#### 会議録が検索・閲覧できます

会議録検索システムを導入しました。14年3月定例会以降の本会議の会議録がインターネットでご覧になれます。猪名川町のホームページからアクセスできます。



お問い合わせは、議会事務局へ (☎ 766-8710)

# 委員会の活動報告

## 幼稚園薬剤師等の報酬を見直し

### 総務企画

3月2日、午前10時から委員会を開会。付託7議案を審査。

特別職の職員で非常勤のもの、報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について

Q 期日前投票所の投票管理者等が設けられたが、改正前とどう変わったのか。



喫煙は館外で（文化体育館）

A 当日投票同様に投票管理、投票立会人を設置する必要があり、当日投票と区分して、それぞれ報酬を定めるものである。

Q 幼稚園薬剤師の報酬額が大幅な増額であるがその理由は。

A 幼稚園薬剤師は川西市薬剤師会へ依頼しているが、従前の報酬額に差があったため、段階的に引き上げ、川西市と同額とする。

Q 川西市医師会及び川西市薬剤師会と川西市の調整により報酬額を改定しているが、町独自の意見は。

A 町も同席しているが、同じ職務内容であり、額が異なるのも難しい。

### 反対討論

川西市と同額ということだが、町の独自性を出すべき。

（賛成多数で可決）

A 町長・助役・収入役及び教育長の給与を5%減額

Q 特別職報酬等審議会の答申では、「現行の額が適当」とあるが、減額する理由は。

A 町税の減収、町債の一括償還、三位一体改革など厳しい情勢である。三役に加え、教育長、一般職も含めて給与を減額することにより、住民から理解を得られる行政を進める。

（全会一致で可決）

### 職員の給与2%減額

Q 職員の2%減額は職員組合が自ら決めたのか。

A 組合に厳しい状況を説明し、理解を求めた。

Q 2年間の減額で展望がもてるのか。継続的に考えるならば、人件費削減の前に経常経費や投資的経費を精査すべきでは。

A 経常経費については、継続して節減を続けている

（賛成多数で可決）

が、今回人件費の削減に踏み込んだ。投資的経費については実施していかなければならない事業もある。人件費の削減だけで税収の落ち込みはカバーできないが、2年間を乗り切れば社会経済情勢が良くなっていると期待もする。さらに厳しい状況であれば、2年間で留まる事もないと考えている。

### 反対討論

2年間の措置であるが人件費以外について精査を行った上で実施すべきである。

（賛成多数で可決）

### 火災予防条例の一部改正

喫煙場所の制限を緩和。

Q 町内の公共施設等の現状と具体的な対応は。

A 文化体育館と日生中央駅前センタービルが対象。文化体育館は現在全館禁煙となっている。今後立ち入り検査等で指導していく。

（全会一致で可決）

（その他の議案は全会一致で可決）

## 待望の農産物販売センターが完成

### 建設環境



4月3日オープンした農産物販売センター

3月3日、午前10時から委員会を開会。付託2議案を審査。

農産物販売センター及び加工・地域食材供給室の設置及び管理に関する条例の一部改正について

農産物販売センターの増設に伴い、既存施設の名称変更及び新施設の所在地の明示を行うため、本条例の一部を改正するもの。

Q 道の駅の所在地を一つにできないのか。

A 所在地を一つにするには、土地の合筆登記等が必要

（いずれも全会一致で可決）

要になり、当面はこのまま運用する。

農業共済条例の一部改正

農業災害補償法の一部改正に伴い、農作物共済等の共済内容について変更する必要が生じたため、本条例の一部を改正するもの。

Q 出荷計画を提出しないと共済加入できないのか。

A 収入補償をすることから、過去の出荷データ等で補償額の設定をするため、提出が必要。

（いずれも全会一致で可決）



# 国保財政安定には 町全体で 健康増進対策を

文教厚生

3月4日、午前10時から  
委員会を開会。付託3議案  
を審査。

## 国民健康保険条例の一 部改正について

納税者の負担の公平を図  
るため改正するもの。

Q 課税限度額53万円の対  
象者数と見込額、また、過  
去の件数は。

A 対象者数は12年度、13  
年度は各130人程度、14  
年度は113人、15年度は  
78人と減少している。見込  
額も年々減っている。



移転することになった教育研究所(5月6日から社会福祉会館へ)

Q 介護納付金課税額の限  
度額が8万円となる影響は。  
今回の変更により応能・応  
益割合は。

A 最大で20万円の賦課増  
と見込んでいる。応能・応  
益割合の改正による影響は、  
賦課所得が減り応能割合が  
少々減となるが、大きな変  
動にはならないと考える。

## 教育研究所設置条例の一 部改正について

Q 教育研究所の移転に伴い  
改正するもの。  
移転させる理由は。

A 現在は、松尾台小学校  
の空き教室を利用している  
が、手狭となったため、移  
転により相談業務や教職員  
の研修の充実を図る。また、  
適応教室の設置を行ってい  
きたい。

(その他の議案も含め、い  
ずれも全会一致で可決)

## 住民の視点による行政改革

総務企画

2月2日  
埼玉県志木市

「地方自立計画」として、  
住民との協働による行政運  
営推進条例を制定し、住民  
のできることは住民に任せ  
る多様な自治制度を現場か  
ら国に提案。住民が行政サ

ービスの受け手から担い手  
として参加する「市民委員  
会」、業務を担う「行政パ  
ートナー」、不登校児の勉  
強を自宅でみる「ホームス  
タディ制度」等を創設。行  
政と住民の一体化、行政コ  
ストの削減を図るため、住  
民の視点による行政改革推  
進などについて研修。

2月3日  
埼玉県坂戸市

市民と行政との協働体制  
確立をめざし、市政モニタ



## 先進地 視察レポート

### 環境政策に学ぶ

1月22日  
熊本県水俣市

水俣市民は水俣病の犠牲  
を無駄にすることなく、そ  
の貴重な経験を教訓にして  
市民・企業・行政が丸と  
なって環境と共生する社会  
や暮らしの実現に向けて協  
働作業を実践している。「環  
境モデル都市」を目指すさ  
まざまな取り組みを研修。

### 建設環境

1月23日  
熊本県八代市

“住んでる町だから……き  
れいにしたい”をテーマに  
掲げ、地域ぐるみまたは各  
種団体の美化活動をさらに  
促進することで、市民全体  
の美化意識の向上を進める  
ため、14年度から「きれい  
な町づくり協定」をスター  
トさせるなど、行政と市民  
の参画と協働による数々の  
施策の実施状況を研修。



ここが聞きたい

# 一般質問

## 町の考えを聞く

定例会第4日（3月7日）に、7名の議員が15項目について質問しました。質問（Q）と答弁（A）の要旨を掲載しています。



### — 今回の質問者 —

- 山崎福市 議員 ●時崎 巖 議員 ●新賀 保 議員 ●下坊辰雄 議員
- 福本典子 議員 ●尾川悦子 議員 ●福井澄榮 議員



山崎 福市議員

**問** 職員は地方分権に対応した地方自治のコーディネーターとしての能力や、政策形成、法務能力など多様な能力が求められている。能力、実績を重視した人事管理、評価システムの整備のほか、健康管理も人材育成の要件では。

**総務部長** 育成基本方針を

Q 分権時代の自立に人材の確保と育成を  
A 職務研修・自己研鑽に積極的に取り組む

示し職務研修・自己研鑽の中で、県・民間等の研修機関へ派遣し経営手法、コスト意識、顧客サービス等の効果の反映に取り組む。職員評価システムは法改正が想定され、管理職等から試行的導入を準備する。人材確保は定員適正化計画の策定。健康管理は組織管理・職員自らの管理に取り組む。

**問** 若手職員プロジェクトチームによる研究を政策形成能力の育成に生かされた。

**企画部長** 環境基本計画に基づき、清流猪名川の水质環境・具体的施策の検討等自由な発想から提案され、即事業実施できるもの、中長期の検討を要するものがある。参加職員は日常業務外で横断的連携、政策形成への自覚、問題意識等の意識改革に役立っている。

若手職員プロジェクトチームによる報告書



# Q 教育における地方自治の確立について

## A めざすべき教育の創造に努める



時崎 巖 議員

**問** 直近の人口動態から推測される本町の児童・生徒数に基づき、本町にとってふさわしい教育における地方自治の確立にむけて、どのような取り組みを考えているか。

**教育次長** 本町においては0歳児が200人にも満たない状況となり、今後、学

校・園では、子どもの数の減少に伴って、学級数、教職員定数にも影響を及ぼし、教育の内容にも大きな支障をきたすことが予想される。

このような状況を踏まえ、教育委員会としては、学校の適正規模や教育内容の連結の観点から、就学前から義務教育まで、一貫教育を視野に入れた形ですめることが重要であると考えている。

**問** 本町の教育を立派なものとするために、中教審答申で示された、公立小・中学校の「地域運営学校」への考えは。

**教育長** 本町としては、15年度に学校評議員制度を導入したのでその充実をはかりながら、併せて今後の課題として考えている。



学校評議員制度の充実と併せ課題とする

# Q ブックスタートの導入を

## A 実施に向け積極的に取り組んでいく



新賀 保 議員

**問** この事業はゼロ歳児健診の際などに、すべての赤ちゃんに保護者にメッセージを伝えながら絵本を贈呈



子どもたちへの絵本の読み聞かせ

するもので、「赤ちゃんの言葉と心を育むには家族のぬくもりの中で語り合う時間が大切である」との認識から、「絵本読み聞かせ」を通じて親や家族と子どもとの「かけがえのないひととき」を持つことを応援する運動である。本町の考えは。

**住民生活部長** 保健センター・子育て学習センター・ボランティア活動等の中で充分主旨を理解し実施に向けて積極的に取り組んでいく。

**問** 「子育て条例」の制定を

れた個性や能力、社会性を発見し、これを表彰することによって心身ともに健全な児童・生徒を地域ぐるみで育てることを目的とし、該当する対象者に町長が表彰し賞状とメダルを贈呈するものであるが、本町でも条例の制定をしては。

**教育次長** 現在は学校の範囲内での表彰にとどまっております。今後は地域と連携し情報交換を図りながら条例制定も含め検討していく。

# Q 生ごみ減量対策を進めるための取り組みは

## A 地域をあげての施策展開が必要である



下坊 辰雄議員

**問** レクスポ広場の代替地は教育委員会が身近な軽スポーツの普及を昭和63年から進めてきた。その結果、平成2年から各団体が協会を設立し、レクスポ広場を利用してきたが、本年4月1日から使用中止となる。今後、レクスポ広場の代替地の考えは。

**教育次長** 平成4年からレクスポ広場として開設したが、上野5号線整備に伴い閉鎖する。その後はスポーツセンターグラウンド・各学校開放施設・つつじが丘中学校用地等を利用してもらい、総合調整し各団体と協議を行う。

**生ごみ減量対策は**

**問** 町内事業所のごみ分別・リサイクル・生ごみ等の減量は進んでいるか。また、町民の協力により、分別は進んだが、生ごみ減量化対策についての取り組みは。

**環境経済部長** 事業者についても今後、要請・指導を継続し減量化に努める。生ごみ減量は今一歩踏み込みに、地域をあげての取り組みに発展するよう施策展開が必要と認識している。



道路整備に伴い閉鎖されたレクスポ広場

# Q 乳がん検診のマンモグラフィは大丈夫か

## A 13年使用開始、仕様基準を満たしている



福本 典子議員

**問** 本町ではマンモグラフィ装置を使って、乳がん検診を行っているが、最近の全国調査では、仕様基準に

満たないものが半数近くとの事。本町の装置は何年経過のものか。また、仕様基準を満たしているか。

**住民生活部長** 現在、保健センターで行っている検診は、兵庫県健康財団に委託しているもので、13年4月1日使用開始の装置。診療放射線技師、医師ともに、「マンモグラフィ検診精度管理中央委員会」の認定を受け合格した医師の診断で、仕様基準を満たしている。利用者は520人で、今後は視触診と合わせ、若年層



マンモグラフィによる乳がん検診



### ひとくちメモ

#### 「マンモグラフィ」

乳房のX線撮影のこと。視触診でわかりにくい小さなしこりを発見することができる。

へも広げ、乳がんの早期発見に努め、住民の不安解消に努力していく。

**不登校と大きくかわる児童虐待**

**問** 本町で児童虐待が発生した場合の対応は。

**教育次長** 通報により虐待と確認したら、児童を確保。西宮こどもセンターで保護し、病院・警察・各関係機関に通報する。また、通報者の安全確保も大切であり、配慮する。

## Q 本町の特別支援教育の考え方は

### A 個人の生涯を見据えた支援でありたい



尾川 悦子議員

**問** 「障害」をもつ子ども、もたない子ども地域の学校で、クラスで一緒に生活していただくなかで「学びあう」ことが数多くある。これまで培

ってきた障害児教育の取り組みを後退させることなく新しい体制へと移行していくにあたり、教育研究所の充実もあわせ、これからの「猪名川町の教育」という視点の中にもどう含め、考えていくのか。

**教育長** 特別支援教育のポ

イントは一人ひとりのちが

いを認め、個人の生涯を見

据えた上での特性に応じた

支援であると考えている。その

中には医療・福祉の連携を

さらに視野に入れて進めて

いく。



社会福祉会館への移転に伴い教育研究所の充実を図る

**問** 教育現場での教職員のメンタルヘルスの取り組みは。

**教育次長** 新年度から精神

科医師による電話相談等が

できる体制をとる。

**問** 情報教育についてはどう

展開していくのか。

**教育次長** 情報活用能力だ

けでなく、望ましい情報社

会の創造にむけて情報発信

に伴う責任などモラルを培

い、児童・生徒が自らの情

報活用を自己評価し、改善

できるよう学校全体で取り

組む。



福井 澄栄議員

Q 20年間で職員を半減させる取り組みを  
A 15年度退職する職員の補充はしない

**問** 委員会で視察した埼玉県志木市では、退職後補充しないことで20年間で職員を半減させ、住民サービスを低下させないような償ボランティア「行政サポーター」を公募し、採用している。これにより20年間で総額約67億円の経費を削減できるといふ。本町でも取り組

むべきではないか。

**企画部長** 本町は15年度退職する職員の補充はしない。

行政改革、後期総合計画の中

でさらに進めていきたい。

オージョイフル前の信号

を早急に時差式に

**問** 時差式になっていない

ので、朝のラッシュ時等に

伏見台側から右折できにく

く住民は困っているが。

**環境経済部長** 住民の要望

もあり、3月末頃に工事に

入るといふ連絡があった。

**成人式の開催は午後**

**問** 日本伝統の着物を着た

いが美容院等の順番が取れ

ずあきらめたり、5時起き

したりと大変なので、午後

にとの要望を聞いているが。

**教育次長** 実行委員会の中

で協議、検討いただけたら

と思っている。



今年の成人式





# 気になる、第二名神の動向

## 報告

### 第二名神自動車道路対策特別委員会

2月13日、午後1時30分から委員会を開会。これまでの経過と道路公団民営化状況について報告を求めた。

#### 〈おもな報告事項〉

- ・ 事業評価結果（国土交通省、11月28日）が発表され、本路線は70区間中37番目、24路線中6番目となる。
- ・ 道路4公団民営化枠組み決定（12月22日政府与党の申し合わせ）
- ・ 当初の建設総額20兆円を13・5兆円に削減、また、40兆円債務は45年以内に完済し、その後国へ移管される。
- ・ 今後の予定は、3月通

常国会に民営化関係法案を提出し17年度中に実施される。

以上報告を受けたが、いずれにしても16年度中に国土開発幹線自動車道建設会議が開かれ、一定の方向は示される。町としては今後の公団側と密接な連絡を取るとともに、地元に対して十分な説明と理解を求めるよう強く要望した。



## 議員研修会を開催

2月13日、本町全議員が参加のもと、議員研修会を開催しました。

関西学院大学大学院経済学研究科／産業研究所教授の小西砂千夫先生を迎え「三位一体改革・交付税改革と本町の財政運営」をテーマに、国の改革が本町に与える影響や財政運営のポイントなどについての講義を受けました。



## 子どもたちの声

### かくれんぼ

阿古谷小学校 4年 武田 瑠衣

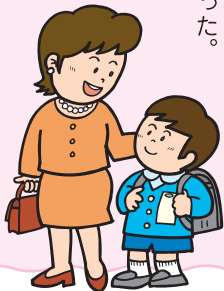
はるとゆきとあそんだよ  
かくれんぼして あそんだよ  
おしいれの中にかくれても  
見つかっちゃった  
かくれるところが なかったよ  
しょうがないから  
トイレの中にかくれたよ  
それでも 見つかっちゃった  
(3年生時の作品です)



### てん校してきたあいつ

白金小学校 3年 末吉 勇也

あいつは だれた。  
とう校はんがいつしよになった。  
あいつは だれた。  
いつしよのクラスになった。



あいつは すごい。  
ドッチがうまい。  
あいつは  
サッカーもうまい。  
あいつに名前をきいた。  
西おと言った。  
西おさんに 学校をあん内してやった。  
西おさんと いつしよに学校からかえった。  
これからもなかよくしよっせ。  
西おさんが来てよかった。  
(2年生時の作品です)

## 編集 後記



今年の桜は観測史上3番目の早さで開花し、桜前線は北上していた。

桜はどのようにして微妙な気象の変化をとらえ適期に花を咲かしているのだろうか。

今、世界の情勢は混沌とし、国内も景気回復の兆しが見えてきたとはいえ、依然として先の見えにくい状況にある。

3月定例会で可決・成立した、平成16年度の予算は時代の変化、社会情勢と住民ニーズを的確にとらえられただろうか。成立した予算が住民のためによりよく生きることを願うものである。